

令和6年度 奈良市子ども会議 回答書

※今年度の回答は、意見書に載っている項目のうち、主に市長への意見報告会の発表で特に子どもたちが発表し説明していた項目を中心に回答しています。

令和6年度奈良市子ども会議回答書

分野	子ども達の意見	奈良市の回答	補足情報（URL・問合せ先の情報等）	担当課
安心・安全	地域のお祭りを定期的に行って、地域の人との交流の場を増やしてほしい	地域のお祭りは、自治会などのそれぞれの地域の団体が企画し、地域住民の皆様によって開催されています。そのため、皆さんのような若い世代の方々にお祭りに参加していただくことに加え、お祭り等の地域行事の企画や運営にも積極的に参加し、意見を出し合って一緒に考えていただくことで、将来にわたって、地域の皆様との交流の場が続いたり増えたりしていくことに繋がります。 また、お祭り以外にも様々な地域行事がありますので、まずは自分たちが住んでいる地域がどのような活動をしているかを調べていただき、ご家族とも話し合うなど、よりたくさん地域の皆様が集まる交流の場づくりについて、考える機会を持っていただければと思います。 地域活動のことで分からないことや悩んでいることがあれば、皆様のご意見も是非聞かせていただきたいと思いますので、いつでも「地域づくり推進課」に相談してください。	【地域づくり推進課】 0742-34-5193	地域づくり推進課
	街灯や防犯カメラを増やして防犯対策してほしい	防犯カメラは、警察等と相談し、必要な設置場所を選んで計画的に設置し、皆さんが安心・安全でいられるよう運用しています。今後もしそういった防犯対策を強化していきたいと考えていますので、皆さんが「ここは危ない」・「この場所に設置するべき」と思うところがあれば、地域の安全見守りや防犯活動を行っている人にぜひ相談してみてください。みんなで安全・安心なまちを作っていきます。	奈良市では、各地域に「自治会」や「自主防犯組織」などがあります。住んでいる場所によって異なるので、地域の役員さんを確認して、相談してみてください。	危機管理課
	防犯ブザーを配布して子どもの安全が守られるようにしてほしい	防犯ブザーは安全対策のため、平成18年度から毎年、小学1年生に配布しています。引き続き小学1年生を対象に配布をして、皆さんの安全が守られるようにしていきますね。	子育て@なら「防犯ブザーの配布について」 https://www.city.nara.lg.jp/site/kosodate/5985.html	いじめ防止生徒指導課
	小さい懐中電灯を配ってほしい	小さい懐中電灯など、防犯対策に有効なグッズなどは、各地域の防災・防犯の組織が活動を行うにあたり、地域がもつ課題の取組の実情に合わせて、必要に応じて購入し配付できるよう、各地区の防災・防犯組織からの申請に基づいて、補助金を出してサポートしています。地域の安全見守りや防犯活動を行っている人にぜひ相談してみてください。		危機管理課
	園の遊具の点検頻度を増やして子どもが安心して遊べるようにしてほしい	市立の園では、1か月に1度、園の先生が実際に遊具を目で見て、手で触って、危険がないかの点検を行っています。劣化などにより修理が必要な遊具については、市立の園を管理している保育総務課に連絡をもらい、どの程度の修理が必要か確認をします。市の職員で修理できないものについては専門の業者さんに修理してもらっています。引き続き、園の子どもたちが安全で安心して遊具で遊べるように定期的に点検していきます。また、私立の園でも、運営している法人が遊具を点検し、子どもたちが安全に遊べるよう管理しています。		保育総務課
	人通りの少ないところを中心に街灯を増やして、事故やけがを減らせる道にしてほしい	奈良市では街灯を設置する基準（例えば何メートルおきに設置するなど）があり、市民の方からの要望があった時などは、この基準に照らし合わせて街灯を設置しています。これからも、事故や怪我を減らすために必要な街灯を設置していきます。 もし「ここは街灯があったほうがいい」と思う場所があれば、地域の防犯活動などをされている方に相談してみてください。		道路維持課
	車通りの多い所にガードレールを増やし、事故やけがを減らせる道にほしい	奈良市通学路交通安全プログラムによる、通学路の合同点検を行い、危険箇所に対し、防護柵(ガードレール等)の設置や歩車道分離等の交通安全対策を計画し、子どもたちが安心して安全に通学できるように対策を行っています。 また、水路や川等の道路と落差がある場所には、落下による事故を防止するための転落防止柵の設置対策を行っています。 奈良市では、学校・警察・地域住民の方々と連携をとりながら、現状の交通問題に焦点を合わせた交通安全対策を進め、誰もが安心・安全に暮らしていけるまちづくりを目指しています。	【奈良市通学路交通安全プログラム】 https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/9064.html	道路建設課
	でこぼこした道を改善してほしい	奈良市ではスマホやパソコンを使って道の穴ぼこなどを通報するシステムを運用しており、その他、国土交通省のLINEアプリや電話などによって市民の方から教えていただいたでこぼこなどの道路の傷みを直しています。また、計画的に傷んだ道を直す工事を行うなど、だれもが歩きやすく、安全に自転車や自動車に乗れる道を目指しています。日常生活の中で直した方がいいと思える道路の傷みを見つけたら、地域の自治会の役員さんなどに相談してみてください。	【奈良市地図情報公開サイト】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/6/94247.html 【国土交通省LINEアプリ】 https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001786.html	道路維持課
	安全のためにブロック塀を減らしてほしい 耐震工事を推進してほしい	「奈良市耐震改修促進計画」により、住宅や建物の耐震化を進めています。 この計画は、地震に強い、安全・安心なまちづくりに向けて、耐震化されていない住宅や建物について、計画的に地震に対する安全性を向上させることを目的として作られています。 耐震工事を進めるために、地震による被害が多いとされている建築時期の古い住宅や建物に対して、耐震診断・耐震改修に対する補助金制度を準備し、建物の持ち主が耐震化を進めやすくしています。 ブロック塀等は、地震によって倒れると、死傷者が出るばかりでなく地震後の避難や救助、消火活動の妨げになるため、危険なブロック塀等の撤去工事の補助金制度を準備し、ブロック塀等の持ち主の撤去工事を進めやすくしています。 また、市民日より、バス広告、奈良市ホームページ、SNS等を通じて、住宅や建物の耐震化が必要であることや耐震診断・耐震改修に対する補助金制度の内容について周知・啓発を行っています。 今後この計画に基づき、地震に強い、安全・安心なまちづくりを目指していきます。	建築指導課ホームページ 奈良市耐震改修促進計画（令和3年3月改定） https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/117/130644.html 耐震補助金制度の紹介 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/117/7505.html コンクリートブロック塀の倒壊防止の注意喚起について https://www.city.nara.lg.jp/site/keikaku/9897.html	建築指導課
	地域での避難訓練を増やしてほしい	地域での避難訓練については、各地域の自主防災組織などが様々な訓練をしています。また、奈良市では総合防災訓練を令和元年度から毎年10月頃に実施しています。避難訓練は、災害が起きたときにとても大事な訓練になるので、「避難訓練をやってみたい」や「避難所での生活を体験してみたい」などやってみたい訓練があれば、各地域の防災活動をしている人にぜひ相談してみてください。一人でも多くの人が安全に避難できるように訓練をしていきましょう。	奈良市では、各地域に「自治会」や「自主防災組織」などがあります。住んでいる場所によって異なるので、地域の役員さんを確認して、相談してみてください。	危機管理課
	年に1回、各世帯にハザードマップを配布してほしい	ハザードマップについては、令和5年度に全家庭に配布しました。また、奈良市ホームページでもデータを掲載しています。今後も定期的に見直しを行い、最新の情報にしていきます。	【奈良市ハザードマップ】 https://www.city.nara.lg.jp/site/bousaisaigai/89308.html	
誰にでもわかる・できる	子ども用の掲示板を作してほしい（学校前や駅前）	すてきな掲示板の提案をありがとうございます。確かに子どものために役に立つ掲示板があると、みなさん、そしてお父さん、お母さんも喜ぶですね。 奈良市では大人用の「広報板」があります。現在、市内に全部で1200か所以上あり、奈良市からのお知らせの他、地域のお祭りポスターやイベント紹介等、地域みんなのための掲示物を貼ることができます。ポスター等を貼るスペースや板が壊れないよう、広報板が建てられている地域の自治会長のみなさんに、市から日常の管理をお願いしています。 例えば、この「大人の広報板」を活用するのはどうでしょうか。広報板は各自治会でいろんな使い方をしているので、自治会長さんに相談すれば、もしかしたら子ども向けのスペースを確保してくれたり、みなさんが作ったポスターを貼ってもらえるかもしれません。 さらに、もう一つ提案があります。みなさんの案の中に「駅前」というのがありましたね。近鉄の駅前や駅ナカには、デジタルサイネージというデジタル掲示板を設置しています。毎日会社や学校へ通う人等に向けて、パッと目を引くすてきな画像や動画を流しています。普段は大人向けの内容が流れていますが、みなさんの今回の提案を受けて、子どもでも読める文字で、奈良市の子ども向けのイベント等を配信してみたいと思います。 例えば、はぐくみセンターで行う「キッズ学びのフロア」や移動図書館のお知らせ等、実験的に配信してみたいと思っています。もしみなさんが今までに参加し、楽しかった奈良市のイベント等があれば、ぜひ教えてください。多くの人にみなさんの「楽しかった！」を共有したいと思っています。		秘書広報課
	外国人観光客向けの外国語看板を増やし、ルールやマナーをきちんと守れるようにしてほしい 観光客向けのルールやマナーの説明看板を増やし、きちんと守れるようにしてほしい	奈良市では、観光客の方に向けて多言語の案内看板等を設置し、「観光客がルールやマナーを守る安全なまち」の実現を目指しています。 外国人観光客の方が観光するときのルールやマナーを知っていただくため、奈良公園をはじめ市内各所に設置しているQRコードから、観光スポットだけでなく、トイレの使い方やバスの乗り方、シカとの接し方などを英語や中国語、韓国語などの多くの言語で見られる仕組みを取り入れています。 また観光案内板だけでなく、奈良県などと一緒に、駅にあるデジタルスクリーンやネット上のホームページで、ルールやマナーの呼びかけを外国語でも行い、さらに理解を深めていただけるよう取り組んでいます。 これからも外国人観光客が増加していく予測があるので、さらなる呼びかけを積極的に行っていきたいと思います。		観光戦略課
	ユニバーサルデザインやバリアフリー化を推進し、誰でも利用しやすい公共空間を増やしてほしい バス停や施設、道にベンチを増やしてほしい 点字ブロックを増やしたり、階段の多い所にスロープをつくったりしてほしい	みんなが安心して暮らせるように、必要な設備を整備していくことは非常に大切なことです。 奈良市においてもいくつかの取り組みを進めています。 公園や公共施設では、バリアフリーのトイレを設置したり、遊具のユニバーサルデザイン化を進めています。また、新しい建物を作るときには、最初から誰でも使いやすいように設計することを心がけています。 奈良市では「奈良市バリアフリー基本構想」というバリアフリー化への基本的な考え方を定め、高齢者、障害のある方、妊婦さん、子育て世代、子ども、さらに観光客などすべての人々にとって、地域の皆さんと一緒に安全・安心で暮らしやすいまちづくりを目指しています。	【奈良市バリアフリー基本構想ホームページ】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/172/8070.html	交通バリアフリー推進課
	本をたくさん増やしてほしい	いろいろな人が利用する図書館では、大人から子ども向けまで様々なジャンルの本をそろえています。これからも、利用していただく方のリクエストなどをうかがいながら、新しい本を増やしていきたいと思いますので、ぜひ利用してくださいね。		中央図書館

分野	子ども達の意見	奈良市の回答	補足情報（URL・問合せ先の情報等）	担当課
相 談	個人情報が漏れないような意見箱を市役所に置いてほしい	意見箱を設置することで、みんなの意見やアイデアを集めることができるのはとても良いことです。 奈良市役所では市民のみなさんからの意見をもらう方法として、「市長への手紙」と「ご意見箱メール」の2つを実施しています。「市長への手紙」では、市が用意した専用封筒を使ってポスト投函ができ、市長が直接みなさんのご意見を読みます。また「ご意見箱メール」は、メールでみなさんのご意見を受け付けています。 どちらも個人情報の取扱いには十分注意して取り扱っていますので、みなさんも安心して意見を寄せてくださいね。	奈良市ホームページ 【市長への手紙】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/7/5517.html 【ご意見箱メール】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/7/7180.html	総務課
	子どもによる子どものための相談室を作ってほしい（その部屋でゲームもできるように用意してほしい） 電話相談（チャットも可）を24時間体制で受け付けているところを増やしてほしい	現在子ども向けの相談室は、子どもセンター内に設置していますが、ここは子どもセンターにいる相談員さんと相談したい人が、相談するために使っている所になります。相談したい人がいつでも相談できるように、相談室の貸し出しはしていません。また、いろんな人が相談に来られるので、相談室にゲームを置いたりすることもできないため、「子どもによる子どものための相談室」を子どもセンターの中に作るのは難しいと考えています。 また、学校でもみなさんが安心して、落ち着いて過ごすことができることは、とても大切なことだと思います。そのため、まずは先生や周りの大人がしっかりと子どもたちの意見を聞く機会と居場所を作っていきたいと思います。 教育支援・相談課での相談では、丁寧に話を聞くようにしているため電話相談や24時間の相談は受付けていませんが、お家の方（保護者）から教育相談総合窓口に直接電話をしていただき、お話を聞いた上で、必要があれば子ども達が教育センターに来てカウンセラーである臨床心理士とお話ができるようにしています。 詳しい相談先については、奈良市立の小学校、中学校に通っている人には学校から渡してもらっているパソコンの「学びのトビラ」に「お悩み相談」の中にいろいろな相談先を示しています。また、その他の人は奈良市のホームページで「教育相談」と検索してもらうと、同じように相談先が表示されます。皆さんが相談できる場所はたくさんある方が自分に合った相談の場も見つけやすいと思うので考えていきます。 皆さんの意見も参考にして、今後も、かしこまった感じではなく、気軽に立ち寄れる場所で相談ができたり、ゲームをしながらお互いの悩みを打ち明けられたりというような気軽に相談ができる場を、増やすにはどうすればよいか考えていきます。	【子どもセンター】 https://www.city.nara.lg.jp/site/childcenter/	子育て相談課 学校教育課 いじめ防止生徒指導課 教育支援・相談課
	いじめアンケートを定期的に実施してほしい	いじめのアンケートについては、学期に1回、年合計3回実施しています。皆さんの声をしっかり聴かせてください。		
	いじめの相談所を作ってほしい	チャット（SNS）、メール、電話でそれぞれ相談できる場所を準備しているので、そのことを皆さんに知っていただけるようにチラシなどで案内していきます。	いじめや学校生活に関する相談窓口一覧 https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/69811.html	いじめ防止生徒指導課
ク リ ン で 過 ご し や す い ま ち	公民館を、避難所だけでなく地域のイベントも含めて市民が集いやすい場所にしてほしい	皆さんを含め地域の方々が誰でもふらっと訪れることができ、心地よく滞在できるエントランス・ロビーづくりを行いたいと考えています。 また、小中高生や若者の皆さんが気軽に立ち寄れるよう、レンタル図書を活用するなど図書の充実を行ったり、空き部屋を「自習室」として開放するなど、自由に使えるスペースを増やしていきたいと考えていますので、今後も気軽に公民館を利用してください。		地域教育課
	市役所内にコンビニ、自販機、防犯カメラ、手洗い場、トイレの設置をもっとしてほしい	市役所内には、中央棟地下1階にコンビニエンスストアがありあります。市役所が開いている日の朝7時30分から夕方6時30分まで営業しています。 自動販売機は、中央棟地下1階・北棟1階と4階の3か所ありコンビニエンスストアが営業していない時間でも飲み物が買えます。 防犯カメラは、市役所に用事や仕事に来られているみなさんの安全を守るため市役所の各所に設置しています。 トイレは、各階の必要な場所に設置し手洗い場は、そこにもあります。令和3年に中央棟1階にどなたでも使いやすい多目的トイレを2か所増設しました。 また、市役所には、今年の6月にオープンした庁舎南側の「芝生広場」と令和5年9月に東棟屋上にオープンした「こども広場」があります。市役所に用事がなくても気軽に来もらえる様な明るい場所を目指していきます。	【市役所南側芝生広場】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/12/209375.html 【市役所屋上こども広場】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/12/180251.html	資産管理課
	駐輪場を各所に増やして利便性を向上させ、また駐輪代を安くしてほしい	奈良市では、自転車利用者の利便性の向上と、自転車の放置を防いで街がきれいである安全な状態を保つために、近鉄奈良駅・高の原駅など主要駅周辺に駐輪場を設置しています。市が直接運営している駐輪場以外にも、民間事業者が運営している駐輪場、市と民間事業者が協力して設置している駐輪場もあり、市内の駅前には全て駐輪場が設置されています。また、駅前の駐輪場以外にも、最近では民間事業者が市内でシェアサイクル（一定のエリア内にたくさん配置されたポート（専用駐輪場）において、自転車を自由に貸出・返却することのできる交通手段）を行っており、便利な交通手段となっています。 市が運営している駐輪場について、利用者がそこまで多くないところについては、維持（いじ）管理のための費用があまりかからないことから、無料の駐輪場として運営を行っていますが、利用者が多いところでは、せまい場所でもたくさん自転車が駐輪できるようにするために建物を建設したり、利用者に自転車をきちんと駐車位置に停めてもらうために、自転車用ラックの整備や床面（ゆかめん）へのライン引き等を行っています。そのほかにも施設に管理人を配置していることなどから運営費用がかかるため、有料の駐輪場として運営しています。 駐輪場を運営するための費用については、駐輪場を利用する方としない方との間で不公平が生まれないようにするため、駐輪場を利用する方に「利用料」としてご負担いただき、その収入で運営を行っています。そのため一定程度の利用料の負担を利用者のみなさんをお願いしているところです。 近年、少子高齢化（しょうしこうれいか）や人口の減少、またリモートワーク（勤務先（きんむさき）ではなく自宅など別の場所で仕事をすること）等の色々な働き方が増えたことにより、駐輪場の利用者が減っている状況です。今後の駐輪場を取り巻く状況を考えて、一番良いと思われる駐輪場運営を行っていきたくと考えています。	【参考URL：ドコモバイクシェア】 https://docomo-cycle.jp/nara/ 【参考URL：ハローサイクリング】 https://www.hellocycling.jp/station/nara/%E5%A5%88%E8%89%AF%E5%B8%82	
	太陽光パネルなどのクリーンなエネルギーを積極的に使用するようにしてほしい	奈良市では、令和5年9月に「奈良市ゼロカーボン戦略」を策定し、2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出（はいしゅつ）を実質ゼロとする脱炭素（だつたんそ）社会の実現を目指しています。 温室効果ガスは、石炭や石油など化石燃料の燃焼、ガスやガソリンなどの使用、車での移動、ごみの焼却（しょうきやく）などで排出され、これらの行動により排出される温室効果ガスが増加したことにより地球温暖化（ちきゅうおんだんか）が進んでいます。 温室効果ガスを減らし地球温暖化を防ぐために、エネルギーを効率よく使う省エネにできるだけ取り組む必要があります。ただ、節電や節ガス、LED照明の活用などの省エネ等で温室効果ガスの削減に努めたとしても、生活を送っていくうえで電気やガスの使用などを全てやめることはできず、削減できる量に限界があります。そのため、太陽光発電など温室効果ガスを発生しない再生可能エネルギーの利用が必要となっています。 そこで、奈良市では、小学校や中学校などの学校をはじめとする市の施設において、太陽光パネルの設置を進めています。また、民間事業者が自社の施設（しせつ）に太陽光パネルを設置する費用の補助（ほじょ）も実施しています。今後も太陽光パネルの設置を進めるなど、クリーンエネルギーの使用を増やしていきます。		環境政策課
	市民が参加できるゴミ拾いイベント（ゲームごみひろい）を開催してほしい	ゴミ拾いイベントについて、現在のところ市役所として市民の参加を想定したイベントは開催（かいさい）していません。ですが、ボランティアのグループ等がゴミ拾いイベントを開催するときは、市役所としてもイベントの広報等の協力を行っています。 コロナが落ち着き、国内外から奈良市を訪れる観光客が増えていることなどから、ポイ捨てゴミが増えているという通報や相談がしばしば市役所にも届きます。ポイ捨てゴミを発生させないために、ポイ捨てがいけないことであるという広報や注意の実施（じっし）、また仕組みづくりが必要であると考えています。市役所としても、ポスター掲示や道路などへの路面標示の設置、駅の中に設置しているデジタルサイネージ（電子掲示板でんしけいじばん）による広報や、条例による自動販売機へのゴミ箱設置の規定など、様々な取り組みを行っています。また、外国人でも分かるように、外国語と日本語を両方記入した掲示物（けいじぶつ）の設置も今後増やしていく予定です。 今後はポイ捨てゴミのない奈良市にしていけるために、ご提案いただいたゴミ拾いイベントを含め、どのような対策が効果的であるか考えていきたいと思います。		
	煙草を売らないでほしい	たばこを売ることが「たばこ事業法」という法律で認められていることや、たばこを売った収入がたばこ税として税収になっていることなど、たばこには様々な側面があり、今の日本の社会で売らないように規制することは難しいです。 でも、たばこを吸う人と吸わない人がお互いを思いやり、気持ちよく過ごせる社会をみなさんにも協力してもらいながら作っていきたいと思います。そのためには、ルールやマナーが大切です。 2020年4月に「健康増進法」という法律が改正され、学校は敷地内禁煙にしくなくてはならないなど、望まない受動喫煙（※）が生じないように、様々なルールが定められました。奈良市でも、この法律に基づいて、市の施設を原則敷地内禁煙にしたり、ルールに違反するお店や施設などに指導をしていたりしていますが、まだまだ不十分なところがあることがみなさんの意見でわかりました。 学校などの施設やお店、市民のみなさんに守ってもらいたいことをもっと色んな場面や方法で伝えていきたいと思います。 （※）受動喫煙・・・自分が喫煙しなくても周りのたばこの煙を吸わされてしまうこと		
	喫煙ブースを人気のないところにつくってほしい	貴重な意見をありがとうございます。たばこのポイ捨てやけむりなどが「子どもにやさしいまち」に影響するとみなさんが考えていることがわかりました。みなさんが知っているとおり、たばこの煙は、吸っている人だけでなく周囲の人にも影響があります。 まずは、望まない受動喫煙（※）を防ぐため、「たばこを吸ってはいけない場所では吸わない・吸わせない」「たばこを吸うときは周囲に配慮すること」を市民のみなさんに守ってもらえるよう、しっかり伝えていきます。 それとあわせて、指定の喫煙所（喫煙ブース）を設置している地域の事例から、設置した場合にどのような効果があったか、また反対に設置したことで困ったことはあったかなどについて広く情報収集していきたいと思います。 （※）受動喫煙・・・自分が喫煙しなくても周りのたばこの煙を吸わされてしまうこと		医療政策課

分野	子ども達の意見	奈良市の回答	補足情報（URL・問合せ先の情報等）	担当課
	パニラトラックの走行を禁止してほしい（騒音）	トラックで移動しながらスピーカーで宣伝することについては、必要ない人にはうるさく感じることがあります。でも、表現の自由や商売の自由も大事です。また役に立つ情報もあり、全てを禁止することはできないので、奈良県ではルールを作ってスピーカーでせん伝できる場所や時間を決めています。 みなさんがパニラトラックの騒音で困っていることは十分理解しました。スピーカでせん伝しているトラックがこのルールを守るようにこれからも指導していきます。 ※奈良県のルールでスピーカーの使用が禁止されている場所と時間 1 ルールで決められている場所 住んでいる人が多い地域（住居専用地域） 風景を守る地域（商業地域を除く） 歴史的な場所 学校、ようち園、保育所、こども園、病院、しんりょう所、老人ホーム、図書館の周囲からおよそ5 0 mの区域 2 禁止されている時間 上記の場所では午前1 0時から午後4 時までの時間以外は使用禁止		保健・環境検査課
	パニラトラックの走行を禁止してほしい（景観）	いただいたご意見のとおり、まちなかで派手なデザインが描かれている車、いわゆる広告宣伝車をみかけることがあります。 奈良市では、屋外において一定の期間、看板や広告などをかかげる場合、周辺への景観に配慮をしてもらうため、派手にならないように色合いや、大きさなどの規制をかけています。しかし、今のところ移動する車などは、その規制の対象となっていない。 「きれいで過ごしやすいまち」を目指すにあたり、このような車は、我々も周辺への景観に影響をおよぼす恐れがあるものと感じています。 そうしたことから、これからは、市内を走る車を確認したり、他市の規制方法の事例を調査・研究したいと考えています。		都市計画課
子どもの居場所・あそび場	運動できる場所をもっと増やしてほしい（総合運動公園や市民プールなど）	奈良市では、すべての市民がスポーツに親しみ、楽しむことができるように、また、市民だれもが身近な場所でスポーツができるように、グラウンドや体育館などのスポーツする場所を準備し整えています。 また、スケートボードパークやランニングステーションなど時代に合ったスポーツをしたり、楽しんだりする場所も新しく設置しています。 このように、さまざまなスポーツを行える場所があれば、市民のスポーツ活動や人の交流が盛んになります。 しかし、新しい場所を作る場合、これから人口が減少していくことやこれらの場所を造るために必要となる費用をどうするかなどを考えていく必要があります。 このような難しい課題もありますが、皆さんや小さな子ども、おじいさん・おばあさんまで、いろんな年代の市民が集い、気軽にスポーツを行える場所をこれからも準備していきたいと考えていますので、これからも皆さんの意見をたくさん聞かせてください。		スポーツ振興課
	ボール遊びができる公園と遊具がある公園を分けてマークを付けてほしい	奈良市ホームページ上の「奈良市地図情報公開サイト」で調べたい公園緑地をクリックすると、その公園緑地にある遊具の写真が出てきますので参考にしてください。 公園でのボール遊びについては、球技や硬いボールをつかったキャッチボールなどは危険であるため禁止していますが、ゴムボールなどやわらかいボールで、周りに迷惑をかけずに遊ぶような場合は禁止していません。 これは、ボール遊びそのものを禁止しているのではなく「危険なことや他人に迷惑をかけること」を禁止していると考えてほしいと思います。 皆さんも公園では、近隣の方や他の公園利用者の方に迷惑にならないよう配慮して遊んでいただきたいと思います。	【奈良市地図情報公開サイト】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/6/94247.html	公園緑地課
	公園の近くにコンビニ・トイレ・冷房室（涼める場所）を設置してほしい	奈良市では、公園の暫定利用事業を募集する「奈良市トライアル・サウンディング」を実施するなど、新たな発想や仕組みを取り入れることによる、個性と魅力ある公園空間を作ろうとしています。 奈良市がコンビニを公園の近くに設置するのは難しいですが、今後、コンビニの会社が公園の近くにお店を出したくなるくらいに、公園の魅力を高めていきたいと思います。 なお、トイレについては大きな公園には設置していますが、住宅地の中にあるような小さな公園には、公園を利用する人の家が近いことを考え、基本的には設置していません。 また、冷房室(涼める場所)については、多くの公園に「パーゴラ」や「藤棚（ふじだな）」「四阿（あずまや）」といった施設を設置し、公園に日陰など涼める場所を作り出せるようにしています。 こうしたトイレや施設については定期的な点検を行い、古くなったり傷んだものについて、順番に修理や更新をしています。		
	公園の公衆トイレをきれいにしてほしい	公園のトイレについては1 年を通して週2 回から3 回、障害者就労支援団体さんによる清掃作業を実施しています。また、古くなったトイレは順番に新しく更新しています。今後も清潔さを保ち、皆さんが気持ちよくトイレを利用できるようにしたいと思います。		
	公園に遊具を増やしてほしい	奈良市には6 0 0を超える公園があり、それぞれを安全に使えるように維持管理するにはたくさんのお金がかかります。また、遊具で安全に遊ぶためには、遊具を設置する時に、遊具と遊具との間に定められたスペースを設けないといけません。 これらのお金やスペースの問題から、公園に遊具を増やすことよりも、今ある遊具を安全安心に利用できるように管理することを重視しています。		
	地域の公園の遊具の点検頻度を増やして子どもが安心安全に遊べるようにしてほしい	遊具の点検については職員による日常的な点検に加え、有資格者による定期点検を現在2 年に1 度実施して、古くなったり傷んだものについて、順番に修理や更新をしています。 皆さんが安全安心に遊べるよう、引き続き点検作業を実施していきたいと思います。		子ども育成課
	広い公園を整備してほしい	新たに広い公園を整備するには、土地の確保などに非常に多くのお金がかかることに加え、すでに建っている家を移動させたり、土地の交換をしなければいけない場合もあります。 そのため、奈良市では一から公園を作るよりも、今ある公園をどうやって活用するかが重要となると考えています。 具体的な取り組みとして、令和5年度、市内の規模の大きな公園の一つである柏木公園については遊具や駐車場等を整備し、「キッズパーク」としてオープンしました。 現在は他の公園においても計画を進めており、今後さらに子育て世代や市民の皆さんにとって魅力的な街となるべく、公園整備を行っていく予定です。		
	奈良市子どもセンター内に無料で利用できる子ども食堂をつくってほしい	子どもセンターには、1.子育て広場、2. キッズスペース、3. 子どもの発達相談、4.奈良市こども家庭センター、5. 児童相談所の5 つの機能があります。例えば、子育て広場は、（概ね0 ～3 歳の児童とその保護者が対象）という様に、それぞれ利用できる人が限られていて、すでに多くの人が利用していますので、誰もが利用できる場所を確保して「子ども食堂」をつくることは難しいと考えています。 提案をもらった子ども食堂については、奈良県こども食堂ネットワークのホームページ（https://kodomonara.com/）で奈良市内の子ども食堂の開催場所などの情報がわかりますので、一度調べてみてください。奈良市でも皆さんに情報が届くように検討していきます。		
	中高生が体を動かしたり、夜まで話せる場所をつくる	奈良市には18歳までの方がご利用いただける児童館が4か所ありますので、児童館で中高生向けの講座等を企画し、中高生の居場所となるような取組を検討していきます。	【奈良市ホームページ（奈良市立児童館について）】 https://www.city.nara.lg.jp/site/kosodate/9927.html	子ども育成課
	朝ごはんの大切さを周知・啓発してほしい	朝ごはんは、一日を元気に過ごすために必要な栄養をとったり、生活リズムを整えたりと、とても大切な役割があります。皆さんが「みんなが健康に暮らせるまち」の実現のために、朝ごはんの大切さを伝えてほしいと提案してくれたことをとても素晴らしいと思います。 奈良市では、「奈良市21健康づくり〈第3次〉」という計画を作っていて、子どもからお年寄りまでのすべての人に、朝ごはんの大切さを伝える取組みを進めています。例えば、健康増進課では色々なテーマで健康講座をしています。その中で、朝食の大切さを伝えるようにしています。また、ホームページやSNSでも情報を発信しています。さらに、市役所のほかの部署や、地域の学校や会社、地域の方々などと協力して取り組みを進めて行きたいと考えています。 これからも朝ごはんの大切さや簡単に用意できる朝ごはんなどについて、たくさんの人に伝えていきたいと思いますので、皆さんも朝ごはんをしっかり食べて元気な一日を過ごしてください。	令和5年度には小学生と保護者の方を対象に、朝ごはんの大切さについて学ぶ講座をしました。ホームページにどんなことをしたかが書いてありますので、良かったら見てみてください。 【令和5 年度2 5 日は学ぼう！にここ奈良ごはんホームページ】 https://www.city.nara.lg.jp/site/otonano-kenkou/174562.html	健康増進課

分野	子ども達の意見	奈良市の回答	補足情報（URL・問合せ先の情報等）	担当課
健康	学校で朝ご飯を食べられるようにしてほしい⇒子どもがメニューを考え市長にそれを伝え、その内容を反映してほしい 週に1回セレクト給食にしてほしい（子ども達が食べたい給食アンケートを実施し、その結果を1位から採用してほしい）（※食品ロスの解消や食育につながる。） 朝ごはんの大切さを周知・啓発してほしい（できれば機会の提供も）	登校前に朝ごはんを食べない人がいることに問題意識をもち、楽しく栄養バランスよく食べることが大切と知っている皆さんはさすがですね！ 実際の奈良市の状況をふまえてご説明します。令和5年度に実施された「奈良県における児童生徒の食生活実態調査」によると、平日に朝ごはんを毎日食べる割合は、奈良市では小学5年生で1.8%、中学2年生で2.7%です。そして、朝ごはんを食べない児童・生徒の約半数は、「食べる時間が無い」や「食欲がない」を理由に挙げています。そのため、朝ごはんを食べるためには、まずは生活リズムの見直しをすることが重要であると考えています。 もし、学校で朝ごはんを食べるとなると、朝の会までに後片付けを済ませる必要があります。また、昼には給食もあるので、朝食を食べるために早い時間に登校することになります。費用の面も検討しなければなりません、アレルギーの対応や栄養バランスのとれた食事の提供には検討が必要です。 朝ごはんの大切さについては、皆さんから貴重なご意見をいただいたので、今後、学級に掲示している食に関する指導資料に「朝ごはんの大切さ」を入れていきたいと思います。 また、セレクト給食についてですが、バランスの良い給食を食べてもらうために好きなものだけを選んで食べてもらったり、一人一人が違う献立で食べてもらったりということはしていません。 以前に、小学6年生と中学3年生にアンケートをとり、3学期に「アンコール献立」として提供していたことがありますので、今後も、皆さんの好きな食材や献立などはアンケートしたり、季節のイベントなどに合わせた献立にするなどして、工夫した献立も取り入れていきたいと思います。給食は、栄養バランスや、予算、作業面を全て考えて出来ています。皆さんの好きな献立をできる限り取り入れたいので、どんなメニューなら美味しく食べられるのか、また教えてください。		保健給食課
学校生活	学校の窓に網戸を付けてほしい	多くの学校の校舎の窓には網戸がついていないため、今後、校舎の改修等を行う際には網戸の設置についても検討していきます。		教育施設課
	校庭を土日も開放してほしい	校庭や体育館などについて、休日に地域活動や運動などの利用がある場合は、利用する団体さんから事前に申し込みを行ってもらい、安全面にも注意しながら使用していただいています。それぞれの地域の活動に参加して利用をお願いします。		
	長期休暇中の宿題をなくしてほしい	宿題や学校の学習だけでなく、いろんな場面で新しいことを学ぶことがとても大事です。夏休みには学校の宿題だけでなく、夏休みならではの特別な学びも楽しんでほしいと思っています。学校でもそのことについて話し合っています。		
	学校で書初め等を実施し、伝統文化に触れる機会を増やしてほしい	世界遺産学習の中でも、伝統文化にもっと触れることができるように、先生たちと一緒に研究していきます。		
	ラーケーションを導入してほしい 担任交代制や授業のオンライン出席を認めてほしい	ラーケーションは学校だけでなく、社会全体の理解が必要になると考えています。学校だけでなく、いろんな方法で学べる機会を増やしていくために、研究を続けます。		学校教育課
	1学期に1回大きいテストを行い、レベルに応じたクラス分けや授業分けをしてほしい（併せてクラス分けによるいじめが発生しないようにしてほしい）	今のクラス分けは、みんなが仲良く過ごせるように、テストの成績だけでなく、個々の特性を考えながら決めています。これから、みんなのことをしっかり考えてクラス分けなどを行っていきます。		
	教育者を増やしてほしい	奈良市の小・中学校では、先生だけでなく、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー、学校サポーターなど、たくさんの人たちが、子どもたちの教育を支えるために働いています。 奈良市では、このような人達を増やしていけるよう日々努力しています。また、たくさんの先生が子どもたちにかかわっていただけるように、教科ごとに教える先生が変わる「教科担任制」や、学年の先生が交代で担任をもち、どの先生にでも相談することができる「チーム担任制」を取り入れていきたいと考えています。		教職員課
	学校生活での不満を教育委員会から学校に伝えてほしい	もし心配なことや不満があったら、いつでも教育委員会に連絡してくださいね。あなたの声を大切に思っています。		学校教育課
	私立公立に関係なく、また出身地などの制限もない教育料の無償化や留学費補助などの経済的支援で、子どもたちの選択肢を増やせるようにしてほしい	みんなが安心して小中学校に通学できるように、通学に必要な費用を援助する「就学援助制度」があります。 経済的に困っている事情があれば申請していただき、審査基準を満たせば援助を受けることができます。国立や私立の小中学校に通学されている皆さんにも利用することができます。 援助される費用は、学用品費、給食費、校外活動費、修学旅行費などで、金額は学年によって異なりますが、国が調査して適切とする額を参考にしています。修学旅行費は、去年から支給できる上限額を大きく引き上げました。 今回提案してもらったことも参考にして、一人ひとりが自分に合った進路を考えることができるように、これからも必要な支援を続けていきます。 また、留学費補助ではありませんが、今年度から開始した事業を紹介させていただきます。 奈良市中学生・高校生等海外夢応援プロジェクトとして、市内在住の中学生・高校生等から、将来の夢を叶えるための「海外探究学習プラン」の提案を募集し、内容を選考のうえ、海外での活動が実現できるよう財政面でその費用の一部を支援するものです。 奈良市ホームページにも実際の出発式の様子などを載せていますので、ぜひ見てください。	【奈良市中学生・高校生等海外夢応援プロジェクト】 https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/212328.html	教育総務課 地域教育課
	学校の先生やボランティア先生を学童の先生にしてほしい	バンビーホームの先生には確かに高齢の方もいらっしゃいますが、大学生のお兄さんやお姉さんなど若い先生もいらっしゃいます。 また、バンビーホームの先生の中には、バンビーホームで働きながら小学校で講師をされていたり、放課後子ども教室の先生をしていただいている方もいらっしゃいます。 バンビーホームは普段は放課後に開所しますが、学校の先生やボランティアの先生はその時間に次の日に皆さんを学校で受け入れる準備をしていますので、バンビーホームに来てもらうことは大変ですが、学校の先生方とバンビーホームの先生方がしっかりとつながりを持って、見守りや学習のサポートをしていきます。また、若い先生がもっと多くバンビーホームで働いてもらえるようにしていきたいと思っています。		地域教育課
	校舎を利用して学童保育をする（建設コストの軽減）	ご意見を頂いた通り、既にある小学校の校舎を利用することで新たにバンビーホームを建設するよりも安価になると思います。奈良市ではバンビーホームを新たに建設する場合は、まず小学校の空き教室を利用できないかを検討します。そのうえで、どうしても空き教室が無い場合はグラウンド等に新しくバンビーホームを建設しています。現在、佐保・登美ヶ丘・済美・富雄第三・鶴舞・鼓阪・興東・田原・柳生小学校では校舎内にバンビーホームを設置しています。今後もバンビーホームを増やす必要が出た場合は、空き教室が利用できるか等、できる限り安価に対応できる方法を考えていきます。		
人権・平等	差別や偏見に関するセミナーを公民館で開いてほしい	奈良市では、1年を通じて差別、偏見等様々な人権についての講演会、イベント、映画上映等を西部会館など市内の施設で開催しております。どんどん参加してください。	【人権を守る】 https://www.city.nara.lg.jp/life/2/16/	共生社会推進課
	差別や偏見、また困っている人に対して見て見ぬふりをする人を減らす趣旨の標語入りポスターを作してほしい	奈良市人権擁護委員さんと奈良市が共催で、人権擁護啓発作品展を実施しポスターや習字を募集しています。表彰された作品でポスターや啓発物品を作製しています。各学校にもポスターを配布しているので、一度ご覧ください。また、ホームページでも作品を見ることができます。	【人権を守る】 https://www.city.nara.lg.jp/life/2/16/	
地域継承・文化	地域の特産品を使った講習会を開いてほしい	地域の特産品について知り、受け継ぐことはとても重要です。 奈良市では、市内の農家で育てられた野菜や米、茶などの農産物をより多くの市民の皆さんに知ってもらい、食べてもらうことで地域を元気にする「地産地消」を進める取り組みを行っています。 この取り組みでは、旬の地元野菜などの知識やおすすめレシピを、ショート動画で紹介するほか、ショッピングセンターでのトークイベントや、親子向け体験ツアーを行います。 このことにより、市民の皆さんが市産農産物を知り、学びを深めるきっかけを提供します。 また、しみんだよりの「奈良の食コラム」にて、市産農産物の紹介も行っています。 今後も、農産物をはじめ、特産品の情報発信につながる様々な取り組みができるよう検討していきます。		農政課